長野県東御市メモ

キャッチフレーズ「ほどよく田舎」

人口3万弱・中山間地 製造業・農業が盛ん 上田市と小諸市の間に位置 千曲川・浅間連峰 湯の丸高原の草花・海野宿 レンゲツツジ・くるみ・オオルリシジミ 力士雷電の生家・水彩画家丸山晩霞 高地トレーニング施設

多機関・庁内連携で進める就労支援 ~コロナ禍を通じた新たな相談者への対応に向けて~

令和4年7月22日 「長野県東御市の生活困窮対策」

長野県 東御市 健康福祉部 福祉課課長 小林 裕次

福祉事務所の体制

・福祉援護係(生保・生活困窮対策・ひきこもり支援・障がい者福祉・母子父子)

係長(保健師)・社会福祉士4人・保健師2人・精神保健福祉士1人・生保就労支援員1人

<u>・母子父子相談員1人・一般事務2人</u> **内、生活困窮担当者は査察指導員含め4人**

- ・福祉推進係(児童手当・児童扶養手当・福祉医療・民生児童委員・保護司) 係長(事務)・手話通訳者1人・一般事務5人
- ・ 高齢者係(高齢者支援・介護保険・市バス管理・高齢者センター管理) 係長(事務)・事務6人・市バス7人
- ・地域包括支援係(介護予防・権利擁護・在宅医療介護連携・認知症施策)

係長(社会福祉士)・看護師1人・保健師1人・主任ケアマネ1人・社会福祉士4人 ・ケアマネ3人

正規職員(所長・次長含):22人 会計年度任用職員:23人

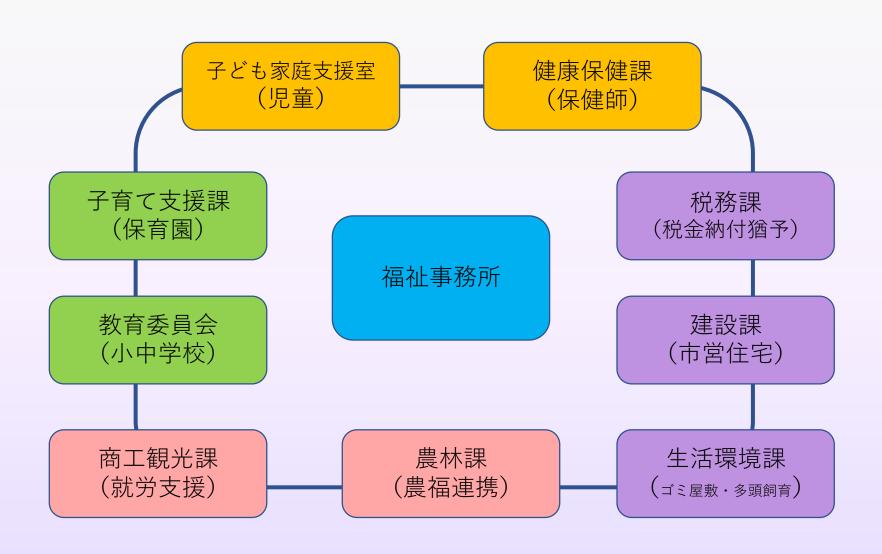
市の重点事業として位置付け

第2次東御市総合計画・後期基本計画(2019~2023)に市の重点 事業の一つとして位置付けている。

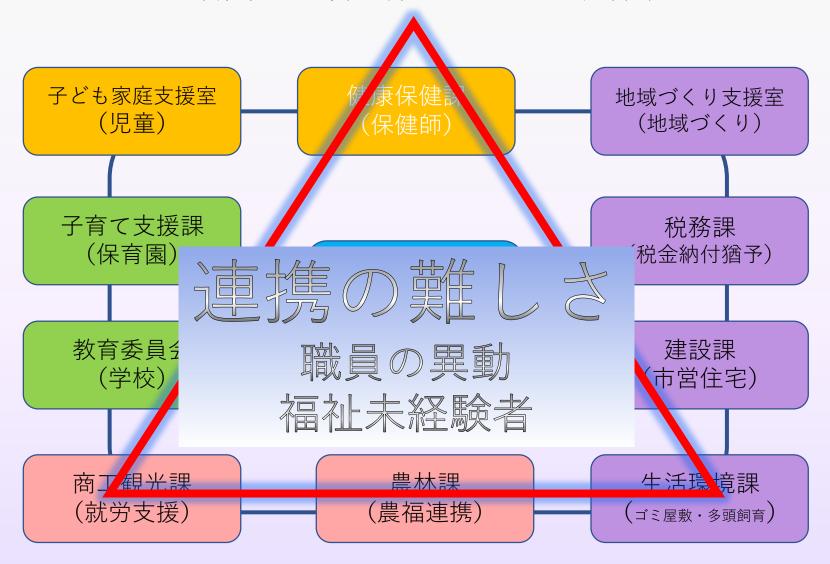
(ひとり親・生活保護・生活困窮世帯の自立支援と生活の安定)

- 1. **関係機関と連携し**、相談及び就労支援を強化し、生活の安定や自立に向けた取り組みを行う。
- 2. **部局間の横断的な連携**を図り、一人ひとりの状況に合わせたきめ細やかな支援を行う。
- 3. 引きこもりの方に対して、切れ目のない相談ができるように相談体制の構築する。

生活困窮支援に係る庁内の連携体制



生活困窮支援に係る庁内の連携体制

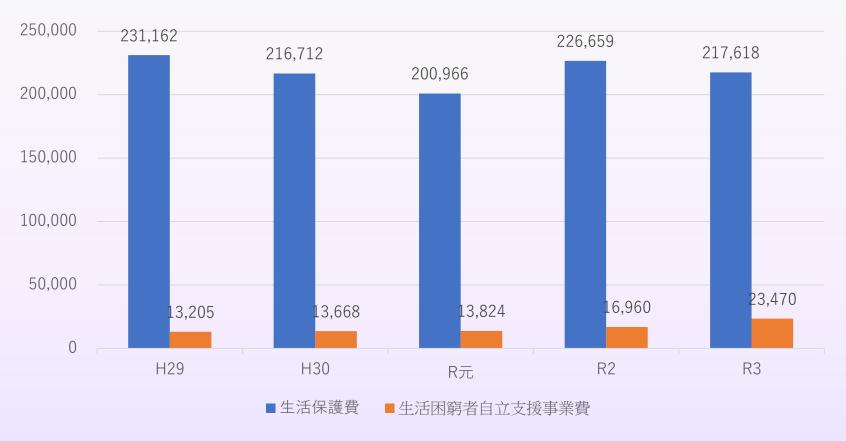


東御市の生活保護受給者数の推移



コロナ前と比較して生活保護の受給者数は1割程度の増でありますが、コロナの特例貸付 やコロナ関係の各種給付金で何とか生活をつないでいることが要因の一つであると考えます。 ただし、複合的な課題を抱えた家庭や稼働年齢の相談件数は増加しています。

東御市の生活保護費・生活困窮者自立支援事業費の推移



コロナ前と比較し、生活保護費については大きな変化はないが、**生活困窮者自立支援事業費は約1.8倍**となっています。

生活困窮者等への就労支援

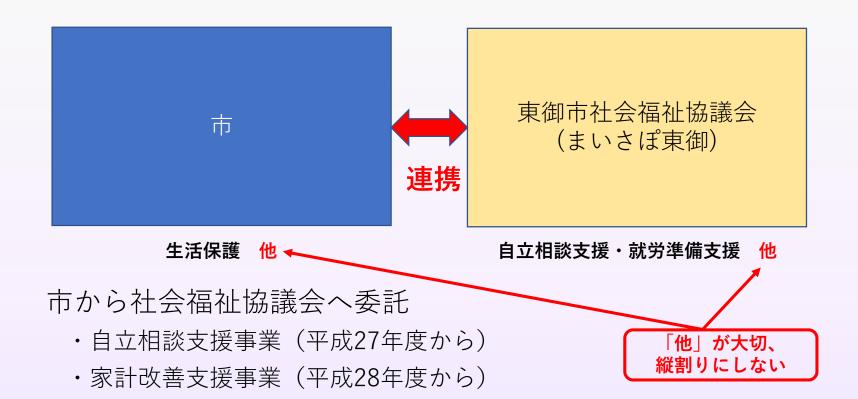
困難事例の増(複合的な課題)



- ・就労意欲の減退
- ・ 障がい(特に発達障がい)があることでの働きにくさ
- ・長期のひきこもり
- ・権利意識の過大化
- ・親子関係の希薄化

他

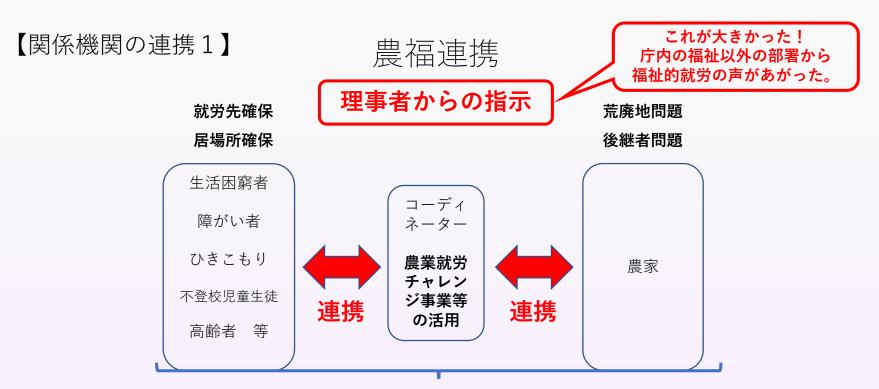
東御市社会福祉協議会との連携



・就労準備支援事業(令和2年度から)

・アウトリーチ支援事業(令和3年度から)

・子どもの学習・生活支援事業(平成30年度から)



まいさぽや関係機関、農家と市 が共に支える体制づくり

- ・これまでも障がい福祉事業所ごとに実施していたが、体制 を整備することで、必要な人へ必要な支援を行うことが可能
- ・コーディネーター及び就労後も伴走型で支援する者が必要
- ・高齢者の生きがいづくりに寄与できる場所

(地域包括ケアシステムの構築)

【関係機関の連携2】

ひきこもり支援

ひきこもり(社会的孤立)の当事者とその家族

福祉事務所

相談窓口の明確化

市民への啓発

精神保健福祉 士を配置 (R4~)

連携

まいさぽ 東御

アウトリー チ支援員を 配置 (R3~)

アウトリー チ支援事業 の活用 居場所の確保

就労先の確保

何故、ひきこもりになってしまったのか? 何故、社会から、地域から孤立してしまっているのか?

生活が苦しい?親の障がい?特性の強さ?生きにくさ?

多機関での連携の大切さ

まいさぽ東御・子ども家庭支援室・保健師・教育委員会・地域住民やボランティアなど関係機関で連携しながら各人の状況に応じ、またその家庭とつながり続ける伴走型の支援

多機関連携の必要性

生活困窮者への就労・生活支援の課題(様々な課題が混在)

- ・個人ではなく、家庭全体への支援の必要性
- ・ゴミ屋敷問題・多頭飼育問題
- ・ひきこもり・不登校児童生徒
- ・税金の滞納、多重債務
- ・母子・父子家庭
- ・外国籍や刑務所出所者
- ・発達障がい・人格障がい
- ・認知症など介護が必要

他

重層的支援体制構築が喫緊の課題